



せん げん やま

# 浅間山

可児市立東可児中学校  
令和6年10月22日発行

## グラウンドの草抜き

生徒指導主事 柘植 直人

先日、サッカー部顧問からこんな話を聞きました。

地域指導者の方が、サッカー部の生徒に「グラウンドが荒れているので、どうにかならないか。時間があったら、私が草刈りをしようか。」と言われたそうです。それを聞いて、サッカー部の生徒は、自分達を使う場所なのだから、自分たちがやらないといけないと思ひ、昼休みに草抜きを始めました。数日が経ち、その日も変わらず、草抜きをしていると、1年生の3人の生徒が、何も声をかけていないのに草抜きを始めました。そこにいたサッカー部顧問が「なぜ草抜きをしてくれたの?」と質問すると、「いつもグラウンドを使わせてもらっているからです。」と答えたそうです。



サッカー部は、昼休みだから遊びたいという気持ちもあったことでしょう。でも、地域指導者の方の思いにはせ、自分たちが使う大切なグラウンドなので、どうにかして抜かなくてはと自分達から自主的に動き出したことに心の強さを感じました。

1年生の3人の生徒は、いつもサッカーをしている先輩たちが、遊ばずに草抜きをしている姿を見て、自分達には何ができるのだろうかと思ひ主体的に考え、草抜きを手伝おうと思ひ行動に移しました。とても温かい気持ちになりました。応援したいと思ひました。

現在 AI の進化にはめざましいものがあります。技術の進歩によって予測できない未来が訪れ、働き方・生き方が変わることは言うまでもありません。だからこそ、サッカー部の生徒や1年生の3人の生徒のような姿は、これからの未来に必要なことを教えてくれているように感じ、お昼の放送で全校生徒に伝えました。

今後とも、学校・家庭・地域が連携して、生徒が将来逞しく生きていけるようにご協力をお願いします。